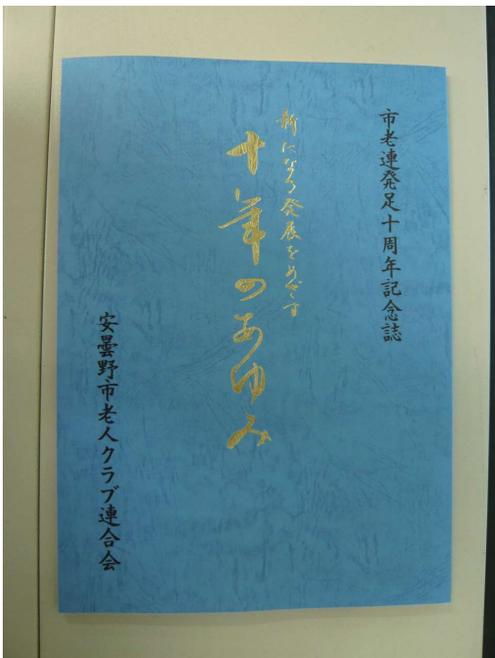


事業区分：冠事業（市民）

団体名 安曇野市老人クラブ連合会

事業名（商品名）	安曇野市老人クラブ連合会 10 周年記念誌発行事業
実施期間	平成 27 年 6 月 25 日 ～ 平成 27 年 12 月 31 日
開催（販売）場所	安曇野市老人クラブ連合会
実施内容	市制施行 10 周年及び安曇野市老人クラブ連合会発足 10 年目となった本年に、その軌跡を辿った 10 周年記念誌を発行し、会員相互の連携・絆を深めるとともに、関係機関への配布により日頃の感謝と更なる理解と協力を求めることを目的に事業を行った。 発行部数 200 部



10 周年記念誌表紙

発刊・編集委員集合写真



事業名	第1回信州安曇野ハーフマラソン				
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	19	補助金	18,500	18,313	大会運営費等
	合計		18,500	18,313	
上記の補助金等を含めた事業の総額【70,585千円】					
実施日	平成27年6月7日		会場	豊科南部総合公園	
実施主体	信州安曇野ハーフマラソン実行委員会		課・事務局	観光交流促進課	
趣旨・事業概要	<p>市制施行10周年を記念し、市内の拾ヶ堰や田園地帯などを巡る21.0975kmのコースでハーフマラソン大会を開催する。マラソンを通じた健康増進や、安曇野の人々や自然の魅力を全国に向け発信するとともに、地域経済の活性化や観光誘客による交流人口の拡大を目的とする。</p> <p>【対象者 市内外のランナー、大会運営に関わるボランティア等】 【参加人数 ランナー4,921人、ボランティア500名以上】</p>				
実施状況	<p>○具体的な内容・様子 残雪の北アルプスを背景に、4,921名のランナーが爽やかな初夏の安曇野を駆け抜けた。沿道では大勢の市民が小旗を振って応援した。また、500名を超えるボランティアが大会運営を支え、様々な団体が安曇野流のおもてなしを実施した。</p> <p>○成果・効果 大会後のアンケートによると、多くのランナーから高い評価を受け、安曇野の魅力を発信することができた。また、ランナーの約半数が県外から参加しており、地域経済の活性化という目的についても一定の波及効果があったと認められる。</p> <p>○課題・今後の展望など 市となってから初めてのマラソン大会ではあったが、大勢の市民がボランティアや沿道応援に参加いただいた。今後いかにこれを持続・発展させ、市が一体となった大会作りをしていくかが課題となる。</p>				
備考					



4,921名のランナーが一斉にスタート



北アルプスを背景に田園地帯を駆け抜ける

事業名	穂高地域地区公民館対抗球技大会				
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	08	報償費	409	337	運営協力謝礼、参加賞
	11	需用費	94	70	消耗品
	合計		503	407	
実施日	平成27年6月14日 平成28年2月14日		会場	穂高総合体育館他	
実施主体	穂高公民館		課・事務局	地域課地域担当（穂高公民館）	
趣旨・事業概要	<p>スポーツを通し、健康維持・増進、地区公民館の交流と親睦を図る。</p> <p>【対象者 穂高地域市民】 【参加人数 1,500人】</p>				
実施状況	<p>○具体的な内容・様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区公民館対抗のソフトボール大会（参加28地区）と9人制バレーボール大会（参加20地区）を開催する。（6月14日） ・地区公民館対抗ソフトバレーボール大会（参加27地区）を開催する。（2月14日） ・本年度から競技の見直しを行い軟式野球を中止とした。 <p>○成果・効果</p> <p>ほとんどの地区公民館に参加をいただき、盛大に開催することができた。</p> <p>○課題・今後の展望など</p> <p>穂高地域では取り組みが少ない、ワンバウンドふらばーるバレーの新規種目としての開催も検討していく。</p>				
備考					

ソフトバレーボール大会の様子



事業名	第31回 信州安曇野あやめまつり				
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	19	補助金	2,500	2,500	イベント実施への補助
		合計		2,500	2,500
上記の補助金等を含めた事業の総額【 3,290 千円】					
実施日	平成27年6月19日 ～30日			会場	あやめ公園、龍門淵公園
実施主体	あやめまつり実行委員会		課・事務局	観光交流促進課	
趣旨・事業概要	<p>水郷明科のあやめ（ハナショウブ）の魅力を広く伝え、永く後世に残すとともに、市内外からの誘客による交流人口拡大を図る。</p> <p>【対象者 市外からの観光客・市民 】</p> <p>【参加人数 50,000 人 】</p>				
実施状況	<p>○具体的な内容・様子 明科のあやめ公園、龍門淵公園を主会場とし、様々なイベントを実施した。今年市制施行10周年記念として、松筑雅信会の皆さんによる雅楽の演奏会や鉄拳のパラパラ漫画上映会、メインステージでの明科高校書道部の皆さんによる書の披露などを行った。</p> <p>○成果・効果 10周年の冠が付いたことにより、市民の一体感がより一層強まった。また、例年以上にイベントが盛り上がった。</p> <p>○課題・今後の展望など 今後もあやめまつりを通じて、観光客の誘客による交流人口の拡大を図るとともに、より一層の市民一体感の醸成を図る。</p>				
備考					



雅楽演奏会



明科高校書道部による書の披露



あやめ深緑ウォーク

事業名	夏季企画展「興味津々あづみの FOOD」				
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	8	報償費	184	206	講演会講師謝礼
	9	旅費	34	7	講演会講師旅費
	11	需用費	596	618	食品サンプル制作、パンフレット等印刷
	13	委託料	43	33	看板設置
	合計		857	864	
実施日	平成 27 年 6 月 27 日 ～8 月 30 日			会場	安曇野市豊科郷土博物館
実施主体	安曇野市豊科郷土博物館		課・事務局	文化課	
趣旨・事業概要	<p>安曇野で伝えられてきたさまざまな食の姿を紹介する。毎日欠かすことができない身近な食について振り返り、これからの暮らしの可能性や他地域との交流、地元飲食産業を振興する機会とする。</p> <p>【対象者 来館者】 【参加人数 1645 人】</p>				
実施状況	<p>○具体的な内容・様子</p> <p>展覧会では安曇野に残されている江戸時代の食の記録を出発点に、記録から再現した貞姫のもてなし膳や昭和 30 年代の日常の食の内容、お雑煮や年取り魚のアンケートの集計結果など現代までつながる安曇野の食の様子を展示で紹介した。</p> <p>市商工会・商工会観光特産飲食部会と共催。</p> <p>◎関連イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6 月 27 日オープニングイベント「石巻と安曇野を食で結ぶ」 ・ 7 月 4 日記念講演会「安曇野の食文化一年中行事からみるその特色―」 講師：倉石あつ子さん グラスハーモニカ演奏：関根康行さん ・ 7 月 20 日 「あづみの食文化最前線」 ・ 8 月 1 日「伝統食を楽しむ～昭和 30 年代の盆料理～」 ・ 8 月 9 日「我が店の一押し」 ・ 8 月 13 日「夏のお年玉」 <p>○成果・効果</p> <p>来館者に安曇野の食文化について知ってもらえる機会となった。特に関連イベントでは、参加者に実際に味わってもらえることや、普段は聞くことのできない食に携わっている方の話を聞くことができ、より深く安曇野の食の様子を広めることができた。</p> <p>○課題・今後の展望など</p> <p>博物館の来館者だけでなく、広く市民の方に展示の内容を知っていただけるように博物館の外で展示をしていければよい。</p>				



展示室でのギャラリートーク



倉石先生による食文化についての記念講演会



講座で昭和 30 年代の新盆の料理を再現して味わう

